

「ナイト ミュージアム2」 ★★★

2009（平成21）年7月13日鑑賞＜角川映画試写室＞

監督：ショーン・レヴィ
脚本：ロバート・ベン・ガラント、トーマス・レノン
ラリー・デリー（ニューヨークの自然史博物館の警備員）／ベン・スティラー
アメリア・イヤハート（女性飛行士）／エイミー・アダムス
ジェデダイア（ミニチュアのカウボーイ）／オーウェン・ウィルソン
デディ・ルーズベルト大統領／ロビン・ウィリアムズ
カームラー（エジプト王）／ハンク・アザリア
イワン雷帝（ロシア史上初の君主）／クリストファー・ゲスト
ナポレオン・ボナパルト／アラン・シャバ
アル・カポネ（シカゴで暗躍した伝説のマフィア）／ジョン・バーンサル
オクタヴィウス（ローマ帝国の初代皇帝）／スティーヴ・クーガン
カスター將軍（アメリカ陸軍將軍）／ビル・ヘイダー
マクフィー博士／リッキー・ジャーヴェス
アッティラ・ザ・フン（フン族の王）／パトリック・ギラガー
サカジャウィア（インディアンの女性）／ミズオ・ペック
ニッキー（ニック・デリー）／ジェイク・チェリー
アインシュタイン（声）／ユージン・レヴィ
セシル／ディック・ヴァン・ダイク
2009年・アメリカ映画・105分
配給／20世紀フォックス映画

＜舞台は、自然史博物館から巨大なスミソニアン博物館へ＞

『ナイト ミュージアム』（06年）はニューヨークの自然史博物館が舞台だったが、『ナイト ミュージアム2』の舞台は、ワシントンD. C. にある世界最大の博物館群、スミソニアンに移動。88年にイギリス、オランダ、スイス、ドイツ、フランス旅行をした時私は大英博物館を少しだけ見学し、その巨大さにビックリしたが、合計19の博物館、美術館、国立動物園などが集まるスミソニアンはそれ以上で世界最大の博物館群。ここには約1億4000万点もの文化遺産や標本を展示しているらしい。したがってスミソニアンを本気で楽しみたいなら、最低でも1週間は滞在が必要だそうだ。プレスシートにある藤田宏之氏の「『森羅万象』に出会える巨大博物館」を読めば、その壮大さにビックリするはず。

前作に続いて脚本を書いたロバート・ベン・ガラントとトーマス・レノンのコンビは連日スミソニアン博物館に足を運んで構想を練ったそうだが、趣味と実益を兼ねた仕事はきっと楽しかったことだろう。

＜ストーリーのカギは魔法の石版！＞

前作『ナイト ミュージアム』は、自然史博物館の中の展示物（人間）が夜になると動き出すという奇想天外・荒唐無稽なアイデアをスクリーン上で実現したユニークな作品。そのうえ父子間の絆や首切り問題、さらにありえない恋愛ストーリーまでうまく絡めていたので、結構面白く私の採点は星5つ（『シネマルーム13』262頁参照）。しかし、2作目になるとユニークさが半減するのは仕方ない。そこでどんなストーリーで興味をもたせるかがポイントだが、本作のそれは前作でも展示品を動かすエネルギー源となった黄金の石版。

自然史博物館に残されるはずだった、あの魔法の石版がまちがって移送されたため、スミソニアン博物館に眠るあらゆる展示物たちが生き返ったらしい。それを利用して異世界に繋がる扉を開き、封印されていた最強の軍団を生き返らせ、世界を征服しようと狙うのが、古代エジプトの王カームラー。その配下に加わったのがナポレオン、アル・カポネ、イワン雷帝などの英雄たちだが、果たして彼らのチームワークは？前作はいろいろなストーリーをバランスよく配置していたが、さて本作は？

＜オールスター戦は大味に？＞

セバ交流戦が定着した今、テレビ放映権が1億円を切ったのがプロ野球のオールスター戦。セリーグ、パリーグを代表する一流選手が集う夏のオールスター戦は大人気だったが、その試合は「夢の球宴」と呼ばれているように、どちらかというとな勝敗よりもお祭りだから、大味になりがち？それと同様、博物館が巨大となり展示品の種類が多くなると、ストーリー也大味になってしまうのでは？

本作の主演は、前作に続いてラリー・デリー（ベン・スティラー）。ラリーの役割はスミソニアン博物館から魔法の石版を持ち出し、ニューヨークの自然史博物館に戻すこと。他方、ラリーと共に大冒険をくり広げるのは、1932年に女性初の大西洋単独横断に成功した伝説のパイロットであるアメリア・イヤハート。『ダウトーあるカトリック学校でー』（08年）でアカデミー賞助演女優賞にノミネートされたエイミー・アダムスがアメリア役としてコミカルな演技をみせるが、さて私の心配は？